

令和 6 年度 栃木県こどもモニター  
第 3 回アンケート結果  
(保護者)

# 調査実施の概要

## 1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えましょう！

## 2. 第3回アンケート期間

令和6年10月21日（月曜日）から11月18日（月曜日）

## 3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

## 4. モニター数

257名

## 5. 第3回アンケート回答者数

238名

## 6. 第3回アンケート回答率

92.6%

※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

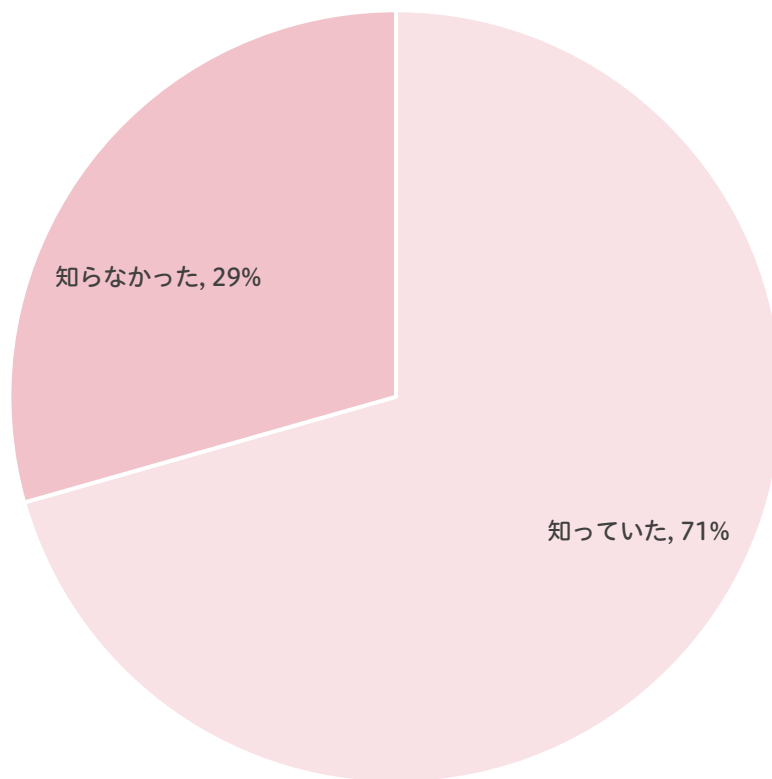
性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	25	22	9.2%	88.0%
女性	231	215	90.3%	93.1%
その他	1	1	0.4%	100.0%
合計	257	238	-	92.6%

年齢	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
10代	0	0	0.0%	0.0%
20代	15	12	5.0%	80.0%
30代	111	101	42.4%	91.0%
40代	97	92	38.7%	94.8%
50代	34	33	13.9%	97.1%
60代	0	0	0.0%	0.0%
70代以上	0	0	0.0%	0.0%
合計	257	238	-	92.6%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。  
そのため、合計が100%にならないものがあります。

**Q1.栃木県の条例の規定により、自転車を利用する人は、自転車損害賠償責任保険等への加入義務があることを知っていますか。**

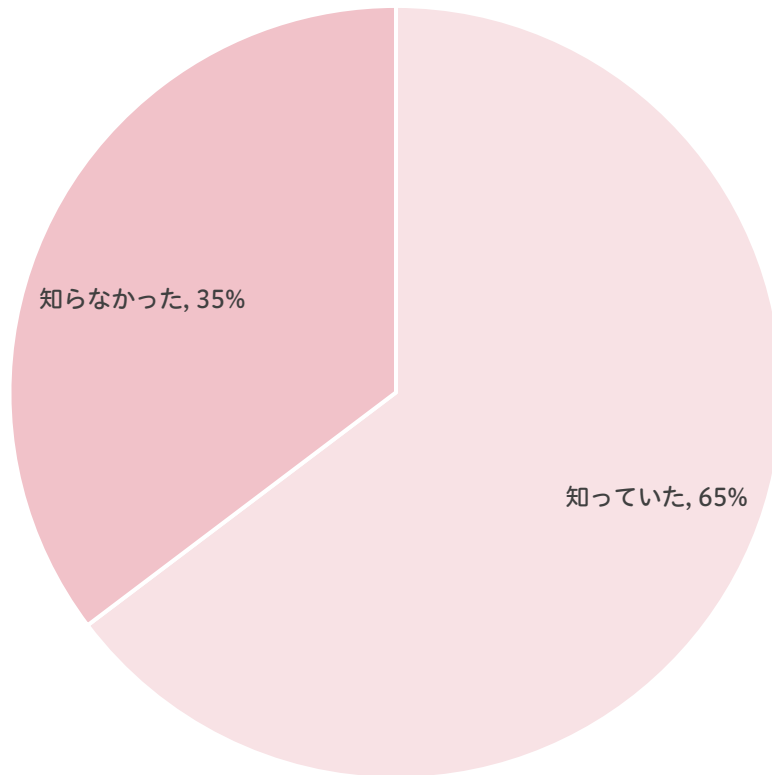
※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車の事故で相手にケガなどをさせてしまった場合の補償に関する保険や共済などです。



**【調査結果の概要】**

「知っていた」(71%)が7割以上を占めており、「知らなかった」(29%)が続いている。

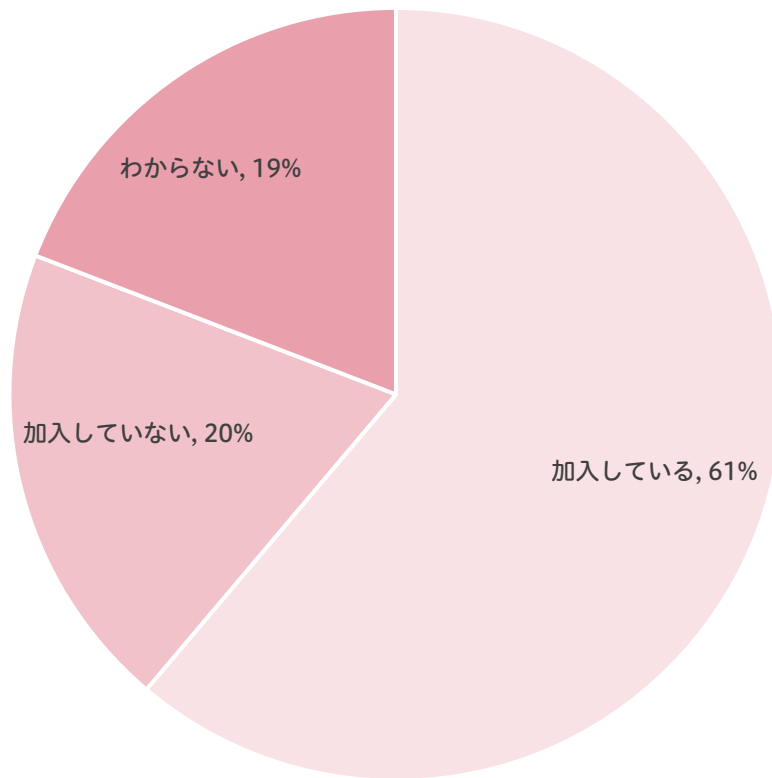
Q2.栃木県の条例の規定により、保護者は、その監護する未成年者が自転車を利用するときは、自転車損害賠償責任保険等に参加しなければならないことを知っていますか。



**【調査結果の概要】**

「知っていた」(65%)が6割以上を占めており、「知らなかった」(35%)が続いている。

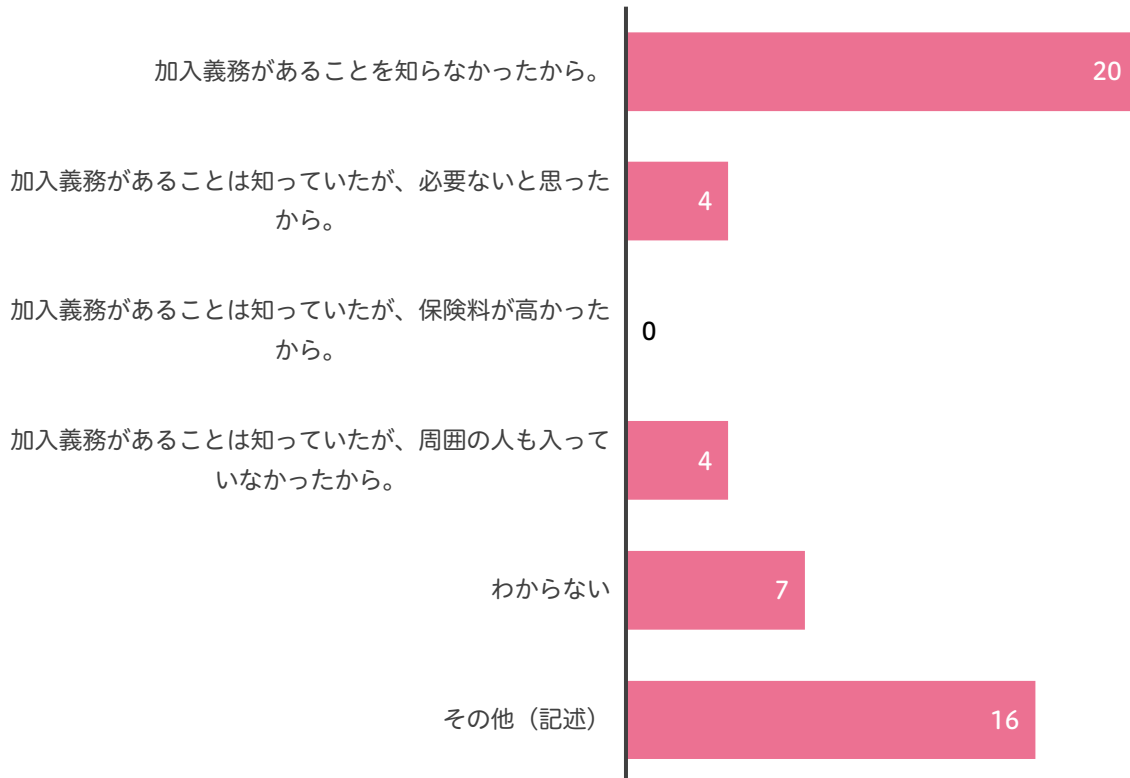
Q3.自転車を利用する人に質問です。あなたは、自転車損害賠償責任保険等に参加していますか。



**【調査結果の概要】**

「加入している」(61%)が最も多く、以下、「加入していない」(20%)、「わからない」(19%)と続いている。

**Q4.「Q3」で「加入していない」と回答した人に質問です。自転車損害賠償責任保険等に加入していない理由は何ですか。【2つまで選んでください】**



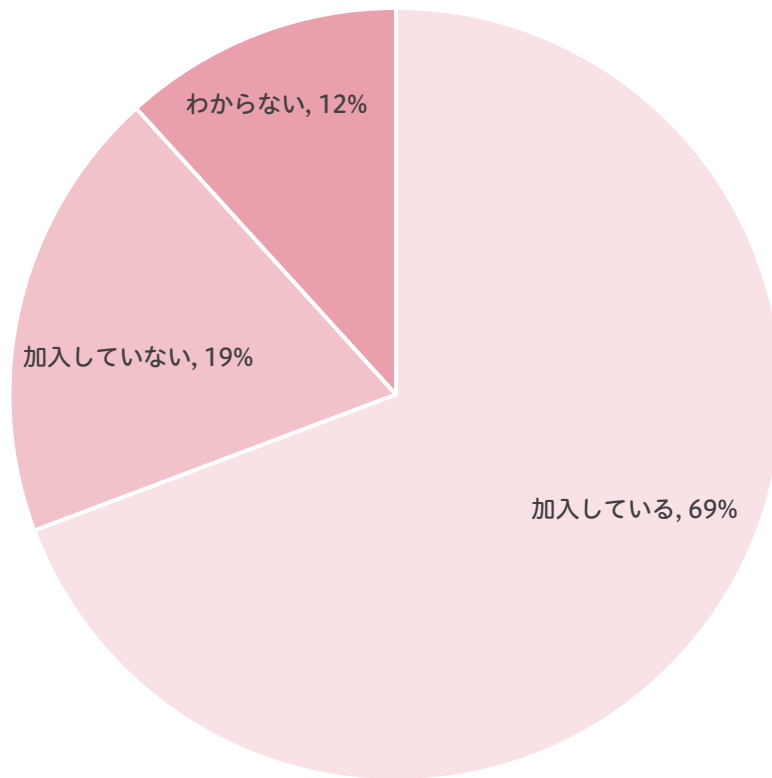
**【調査結果の概要】**

「加入義務があることを知らなかったから」(20件)が最も多く、以下、「その他」(16件)、「わからない」(7件)と続いている。

**【その他の自由記述】**

- ・ 自転車を自分が乗って居た時は保険などはなく、現在でも保険は任意だと思っていた。
- ・ 自転車損害賠償と個人賠償？が一緒か分からないが、個人賠償？は入っている。
- ・ 自転車に乗らない、あまり乗らない、持っていないなど 16件

Q5.お子さんが自転車を利用する人に質問です。お子さんを自転車損害賠償責任保険等に加入させていますか。

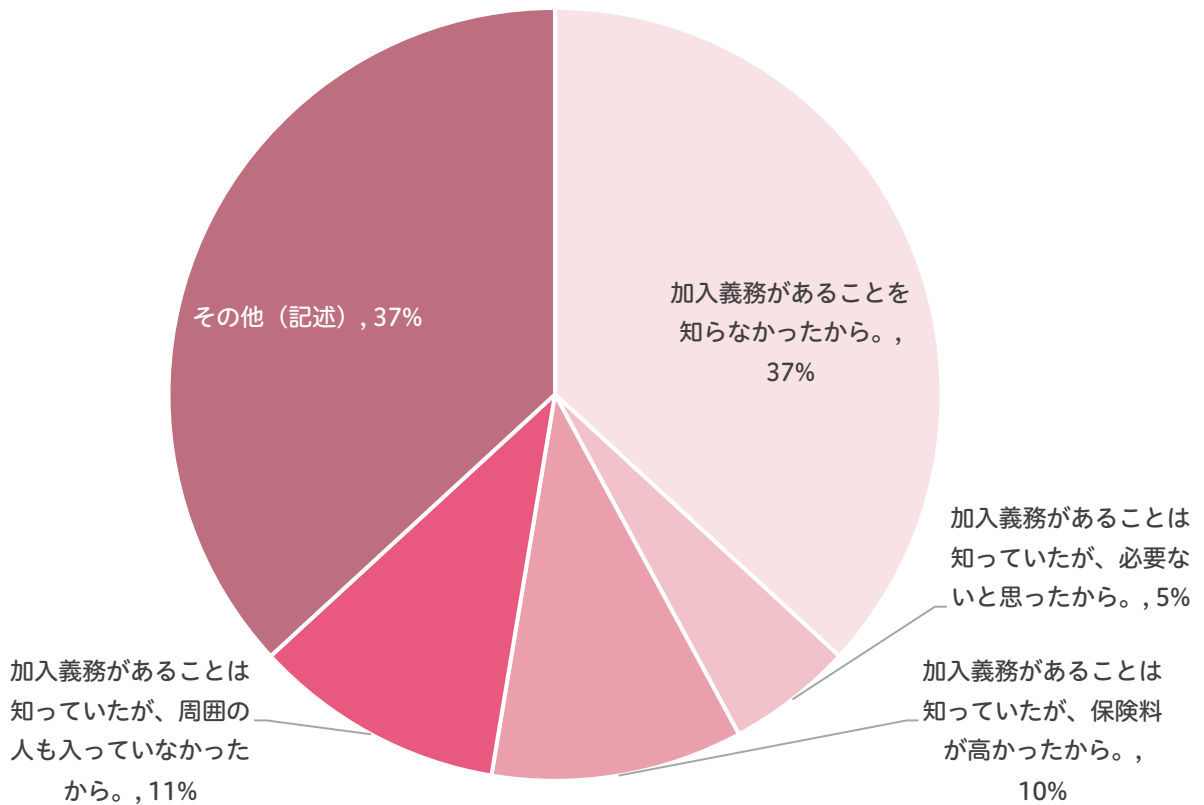


**【調査結果の概要】**

「加入している」(69%)が最も多く、以下、「加入していない」(19%)、「わからない」(12%)と続いている。



Q6.「Q5」で「加入させていない」と回答した人に質問です。自転車損害賠償責任保険等に参加させていない理由は何ですか。



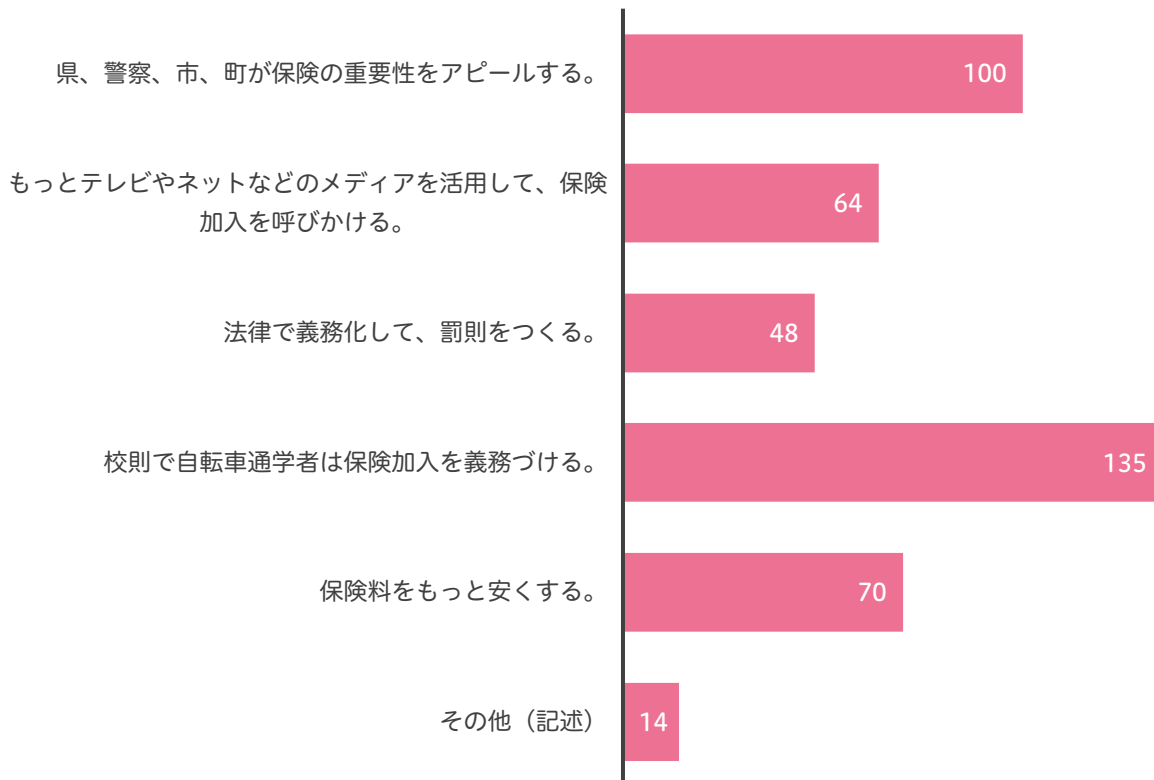
#### 【調査結果の概要】

「加入義務があることは知っていたが、必要ないと思ったから」、「その他」がどちらも37%となっていて、以下、「加入義務があることは知っていたが、周囲の人も入っていないから」(11%)と続いている。

#### 【その他の自由記述】

- ・ 親の加入している保険で対応できるから。
- ・ 加入させるつもりです
- ・ 加入しなければならないことは理解しているが、どこで入ればいいのか検討段階のため。
- ・ まだ子供が自転車に乗って公道を走る事がない。
- ・ 自転車を持ってはいるが、移動としてはほとんど使わず、公園の中で走るだけの為
- ・ 個人賠償？は入れている。
- ・ 自転車に乗らない、まだ乗れないなど 8件

**Q7.現在、栃木県の自転車損害賠償責任保険の加入率は、他県に比べ低い状態です。そこで、どうすれば保険の加入率が上がると思いますか。【2つまで選んでください】**



**【調査結果の概要】**

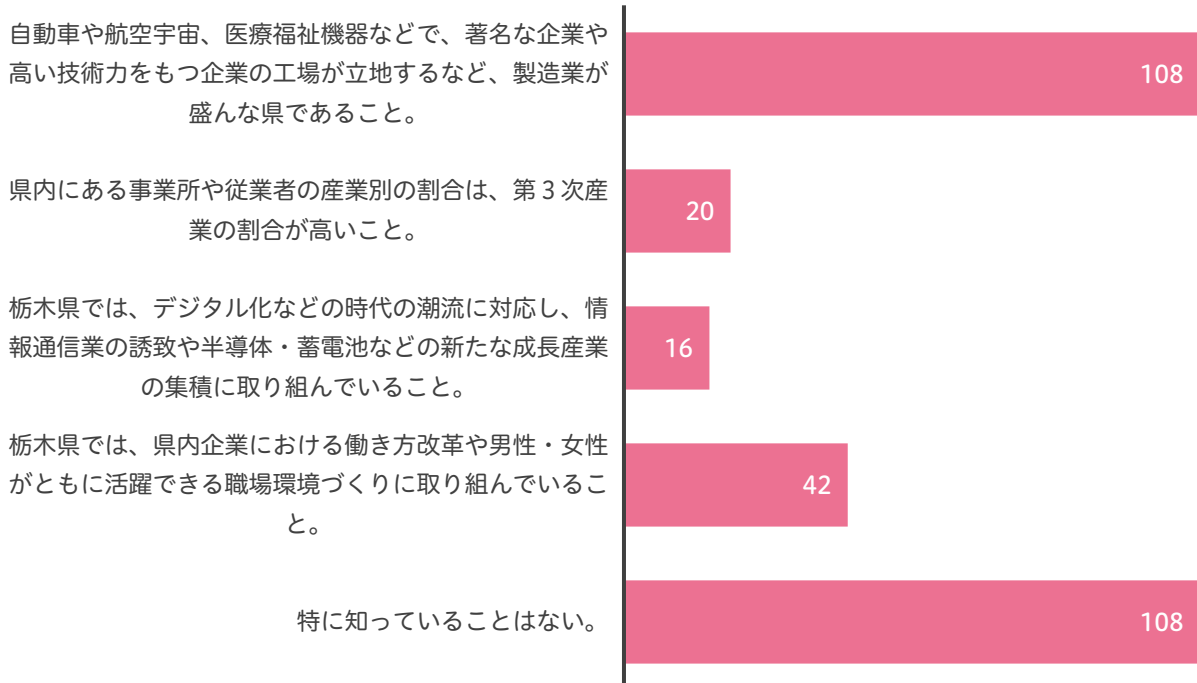
「校則で自転車通学者は保険加入を義務付ける」(135件)が最も多く、以下、「県、警察、市、町が保険の重要性をアピールする」(100件)、「保険料をもっと安くする」(70件)と続いている。

**【その他の自由記述】**

- ・ 保険料を無料にし（助成を出し）、加入を義務づける。
- ・ 学校で自転車の講習会などあるので、その際に保護者向けに手紙などで知らせると周知が広がるかなと思います
- ・ メリット、デメリットについて、学校や販売店などで説明および加入書を提示して購入できるようにする。
- ・ 購入の時に自動的に入る仕組み。防犯登録と同じようにする。
- ・ 自転車購入時に加入する仕組みを作る。
- ・ 購入時に加入させる。（防犯登録は 500 円を支払ってその場で防犯登録シールが貼られる記憶があります。）
- ・ 同じ日本で他県と比べる必要がない。他県と差があると戦争でもするわけでもない。加入は乗る人、保護者の責任であり、義務化の意味が理解できない
- ・ 学校、保育園、幼稚園経由で、加入義務のお知らせを配布する
- ・ 自転車購入時に保険加入の案内等を購入店舗で呼びかけてもらう。学生以外の方にも広く知ってもらえらると思う。
- ・ 自転車購入や修理の際に加入を義務付ける

- 学校で交通安全教室等を実施する
- 学校の交通安全指導で子どもと親へ教える
- 加入した時のメリット、しなかった時のデメリットをわかりやすく周知する
- 自転車購入時に手続きするようにする
- 未成年には県が保険料を負担する
- 対象者が学生ならば、加入証明書の提出義務とし、提出したものに駐輪許可証等を発行して管理する
- 自転車販売の時は薦めてるのかな？
- 共済の器物破損の保険で自転車事故もカバーしているから、そう言った項目まで書けばなんらかの形では保険に入っている人が増えると思う。

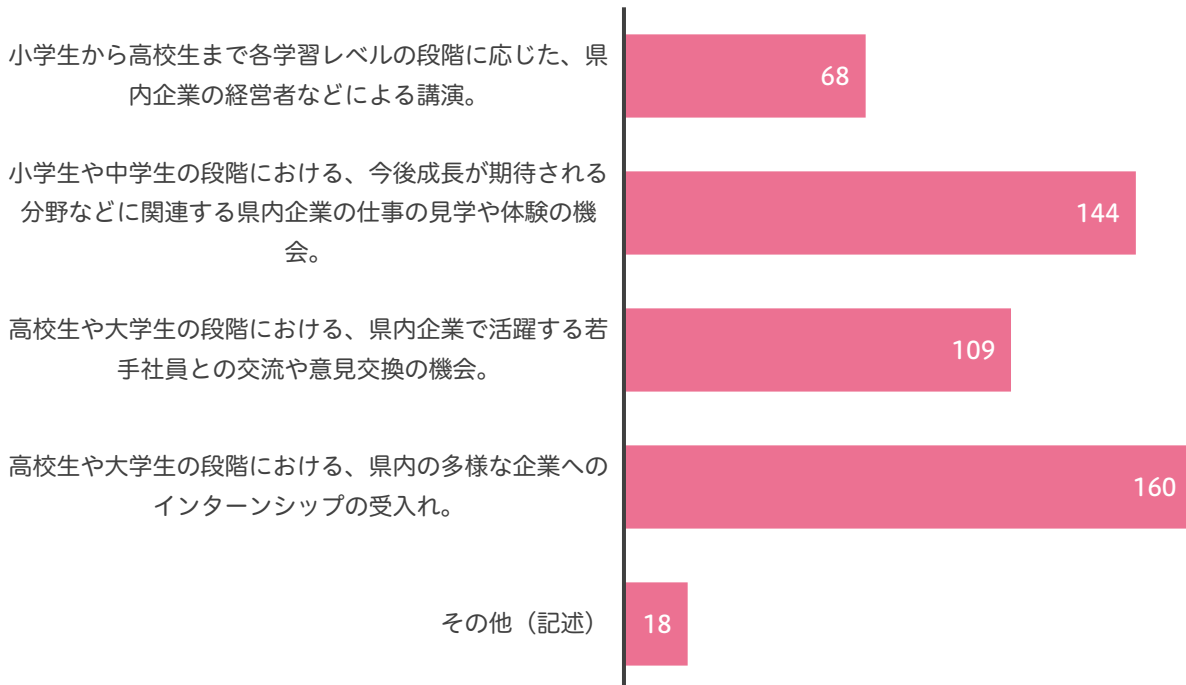
**Q8.栃木県の第2次産業（例：製造業、建設業など）、第3次産業（例：卸売・小売業、情報通信業など）の特徴等について、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】**



**【調査結果の概要】**

「自動車や航空宇宙、医療福祉器などで、著名な企業や高い技術をもつ企業が立地するなど、製造業が盛んな県であること」、「特に知っていることはない」がともに108件で、以下、「栃木県では、デジタル化などの時代の潮流に対し、情報通信業の誘致や半導体・蓄電池などの新たな成長産業の集積に取り組んでいること」（42件）と続いている。

## Q9.進学で東京や他県にいる人達に対して、栃木県にも魅力的な仕事があることを知ってもらうためには、どのようなことが大切だと思いますか。【いくつでも選んでください】



### 【調査結果の概要】

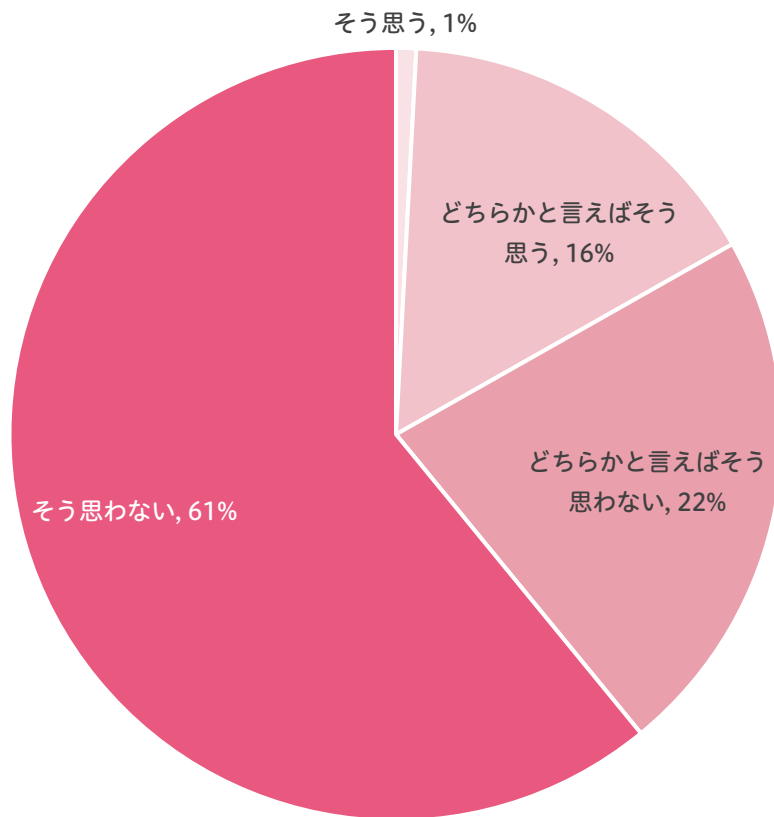
「高校生や大学生の段階における、県内の多様な企業へのインターンシップの受け入れ」（160件）が最も多く、以下、「小学生や中学生の段階における、今後の成長が期待される分野などに関連する県内企業の仕事の見学や体験の機会」（144件）、「高校生や大学生の段階における、県内企業で活躍する若手社員との交流や意見交換の機会」（109件）と続いている。

### 【その他の自由記述】

- ・ 企業に県内出身者向けの入社枠を設ける。
- ・ 地元優先枠の拡大
- ・ 仕事を選ぶのは場所よりも内容だと思うので、特に子どもたちにPRする必要はないと思う。県外で仕事をする経験はあった方が良く思う。
- ・ 働き口があるが土地は安くて住みやすい、場合によっては都心への通勤も可能な点を伝える
- ・ 県内就職で奨学金の返還なしにするなど
- ・ 大人が自分の仕事に誇りをもって楽しく仕事をする。楽しさを伝える。
- ・ 社会科見学
- ・ 学生だけでなく今現在働く大人や企業に対してもアピールしていくことが大切だと思う。
- ・ 福利厚生をよくする給料が高くて、休みを多くする
- ・ 賃金向上。
- ・ 県や市が、企業と協力して県内企業がPRやワークショップなどができる企画を増やす。
- ・ まず住んで働きたいと思えるような街にするべき。．．．利便性テレビやネット、SNSでPR
- ・ 中学生に、会社見学や、工場見学を沢山させて欲しい
- ・ 親の職場に子供がもっと気軽に来て見学出来るようにする。働くことの大変さ、親のありがたみもわかると思う

- ・ キャリア教育の観点で、小学校時代からの将来の夢と関連した職業調べから発展した、県内の職場や職業調べ。
- ・ 魅力的な仕事とはどういうことかわかりづらい。宇都宮駅周辺が都会的な雰囲気であることが必要だと思う。
- ・ 仕事以外の福利厚生や、観光、子育てなど私生活が充実できる環境が整っているかどうかが重要だと思います。
- ・ 企業が小学生くらいからを対象とした職業体験とその企業の特徴をわかりやすく説明する場があるといい実際に栃木未来体験?!で日産のイベントに参加したが、子どもが益々車への興味が深まった
- ・ インターの小学校や中学校を増やしたり、小学校からの学習能力の底上げをしてほしい

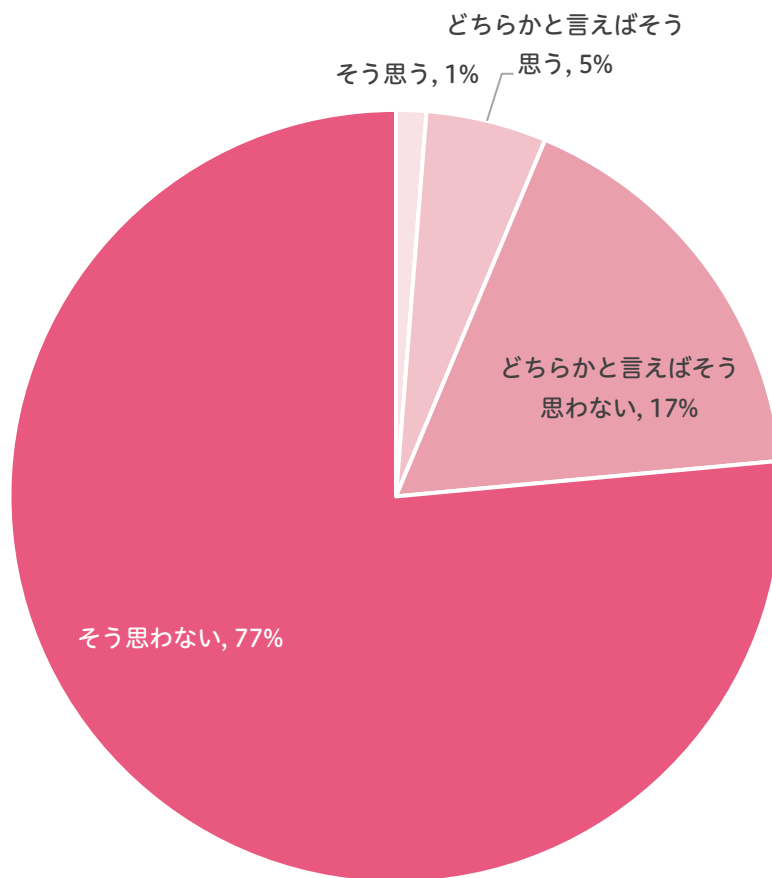
## Q10.家事・育児は女性がすべきだと思いますか。



### 【調査結果の概要】

「そう思わない」(61%)が最も多く6割以上を占めており、「どちらかと言えばそう思わない」(22%)、「どちらかと言えばそう思わない」(16%)と続いている。

Q11.女性に理系（数学や理科、技術など）の学校や職業は向いていないと思いますか。

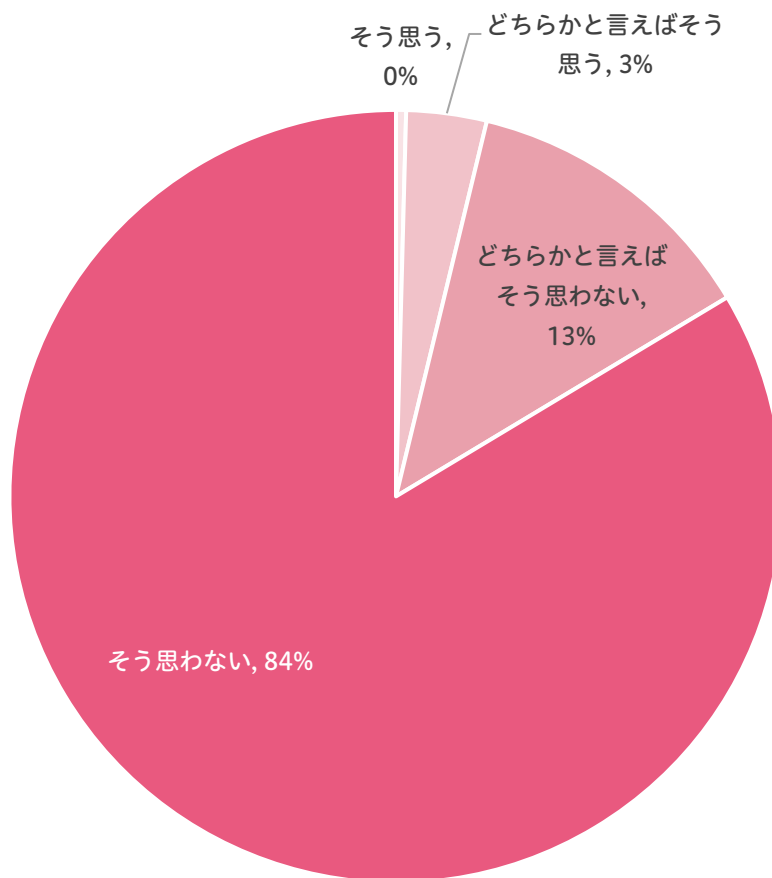


【調査結果の概要】

「そう思わない」(77%)、「どちらかと言えばそう思わない」(17%)を合わせると、9割以上の方が「女性に理系の学校や職業は向いていない」と思っていない結果となった。



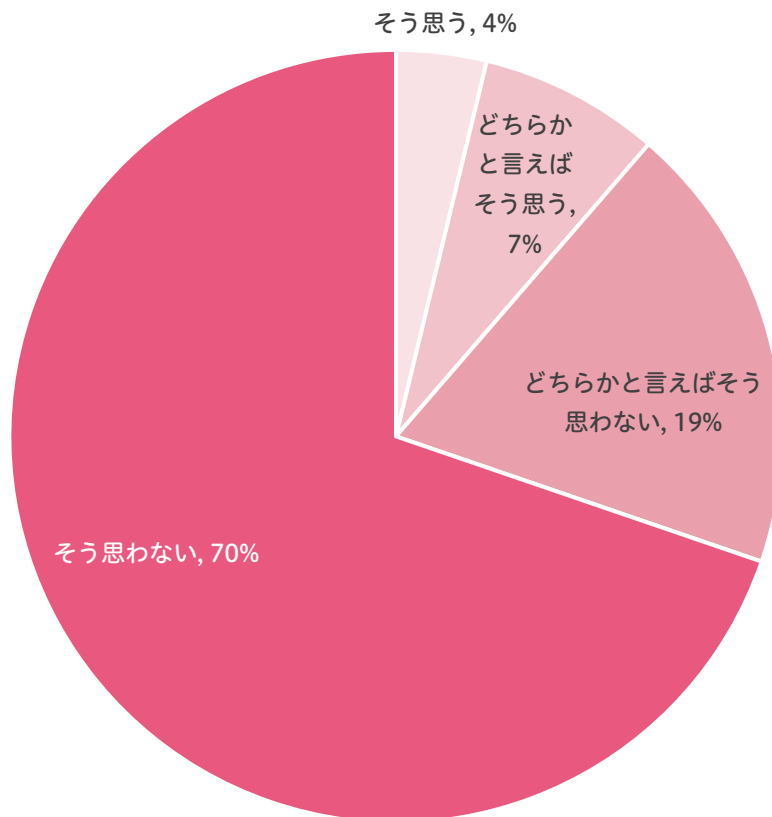
Q12.学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思いますか。



**【調査結果の概要】**

「そう思わない」(84%)が最も多く、続いて「どちらかといえばそう思わない」(13%)となっており、9割以上の方が「学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子が向いている」とは思っていない結果となった。

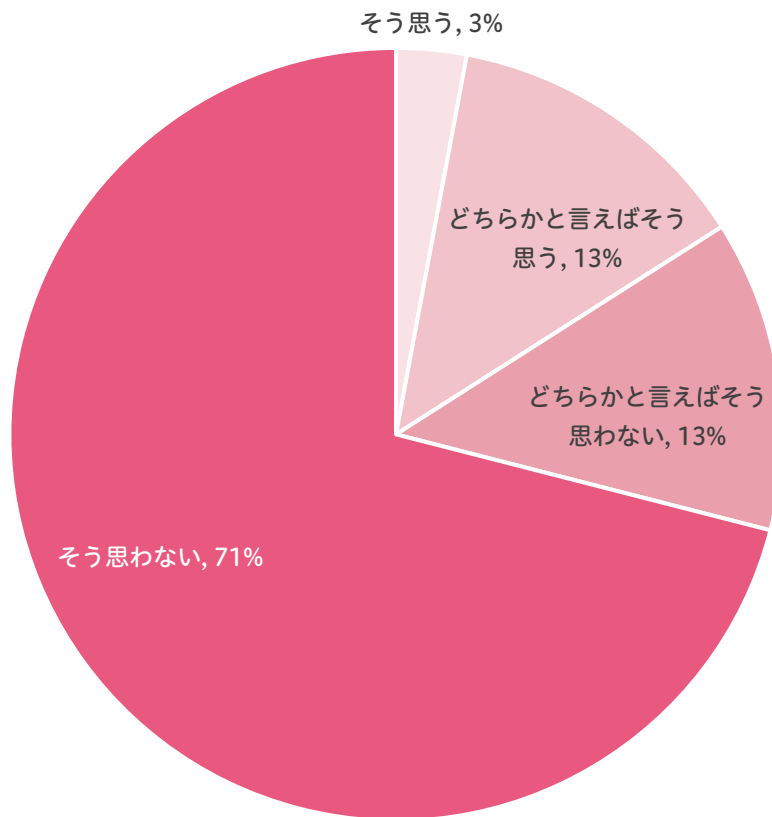
Q13.男性は出産休暇／育児休業を取るべきではないと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(70%)で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(19%)も含めると、9割近くの方が「男性は出産休暇/育児休業をとるべきではない」と思っていない結果となった。

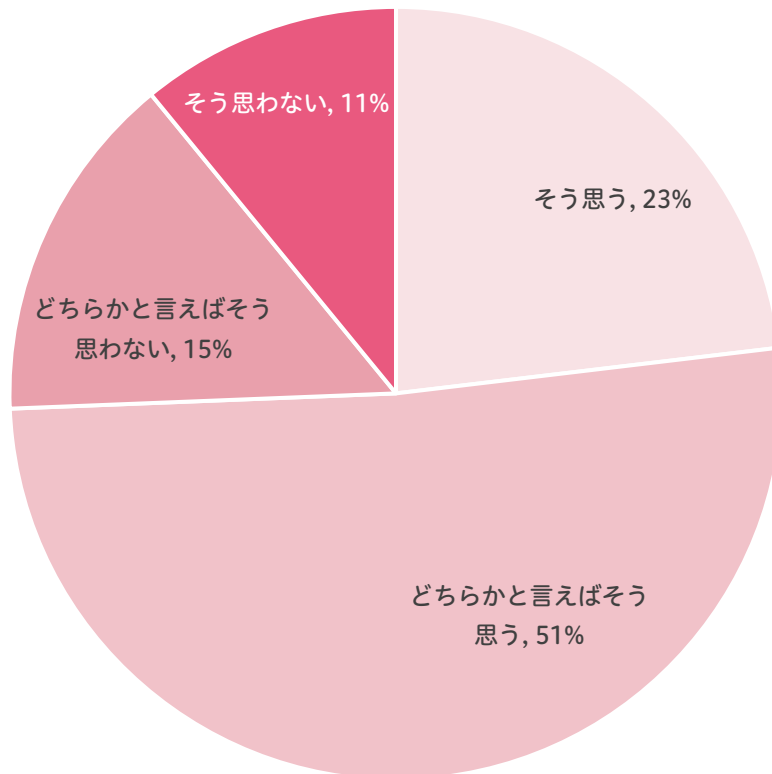
Q14.職場のリーダーは男性が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(71%)、が最も多く、以下、「どちらかと言えばそう思わない」、「どちらかと言えばそう思う」がどちらも13%と同数になっている。

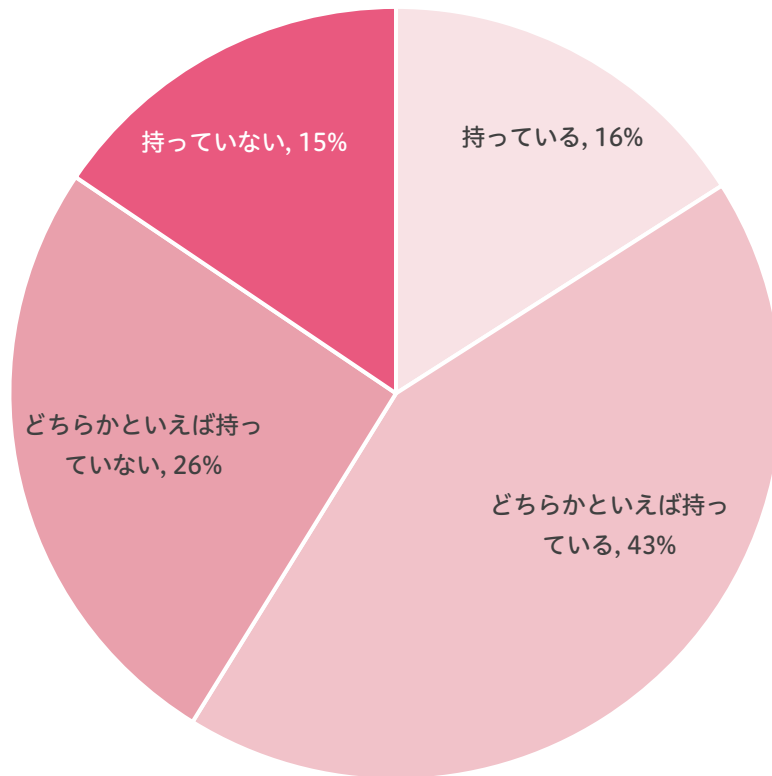
## Q15.今の生活が充実していると思いますか。



### 【調査結果の概要】

「どちらかといえばそう思う」(51%)が最も多く、以下、「そう思う」(23%)、「どちらかといえば  
そう思わない」(15%)と続いている。

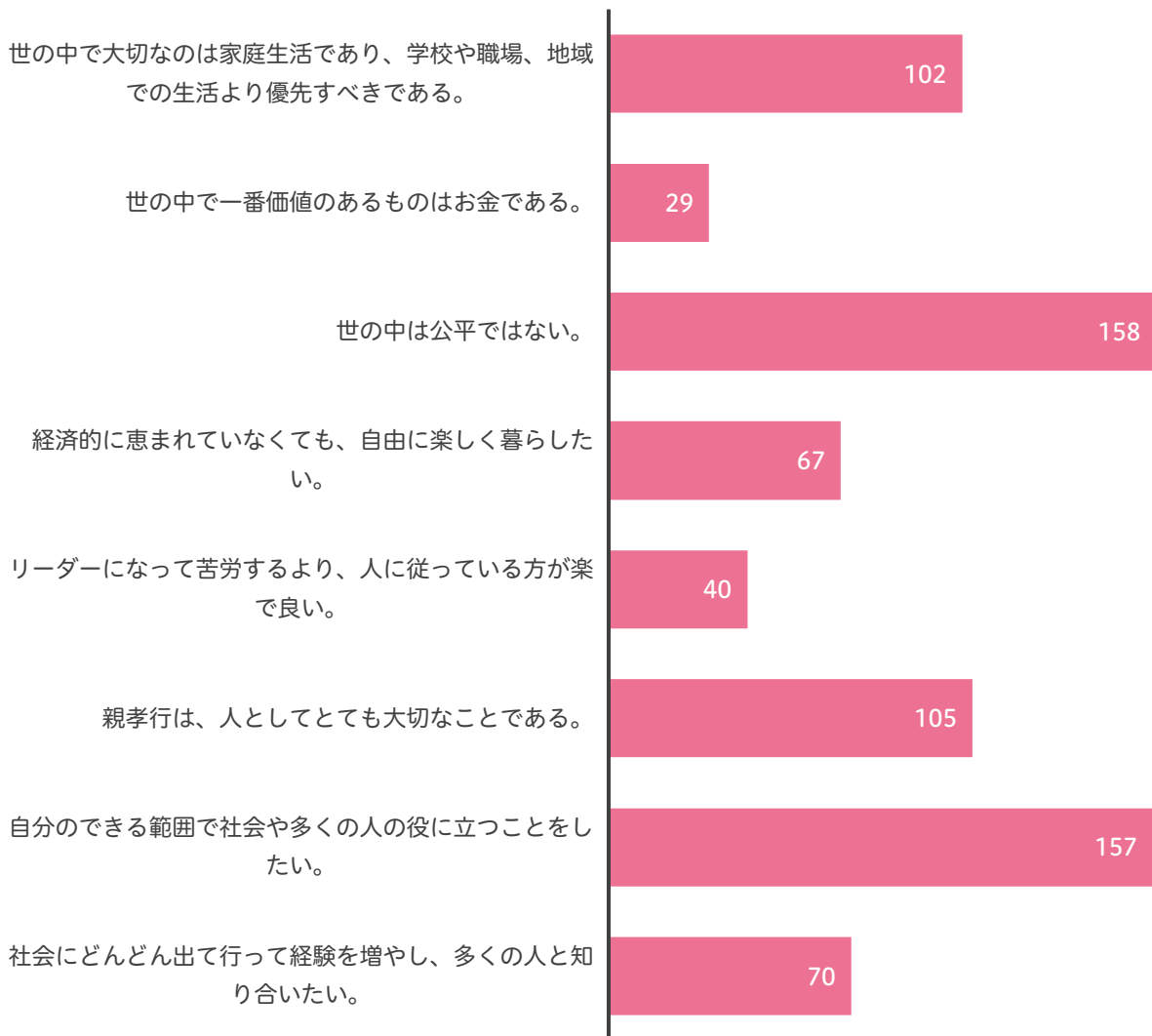
Q16.自分の将来について夢や希望を持っていますか。



【調査結果の概要】

「どちらかといえば持っている」(43%)が最も多く、以下、「どちらかといえば持っていない」(26%)、「持っている」(16%)と続いている。

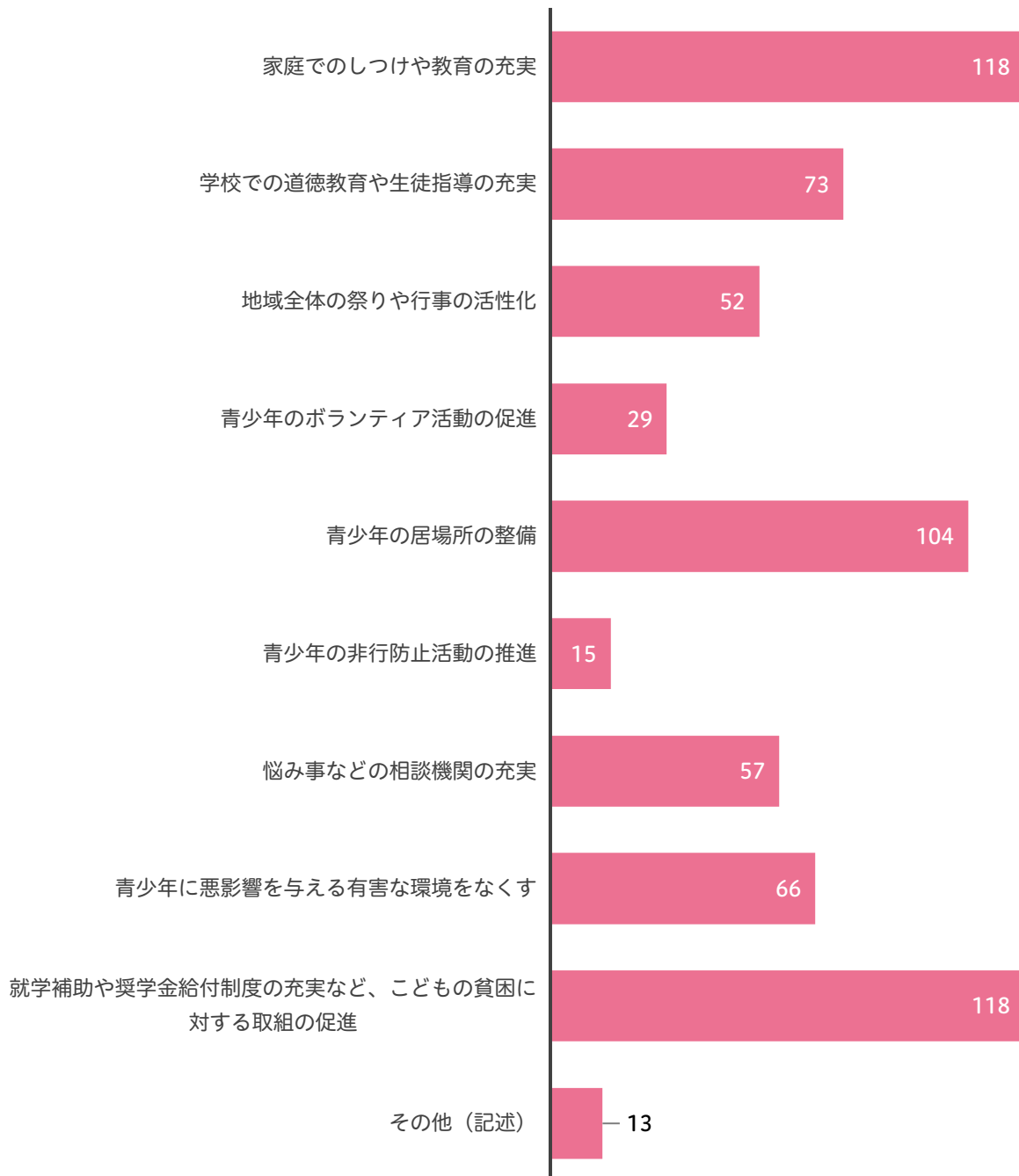
**Q17.社会に対する意識として、あなたの考えに近い考え方を選択してください。【いくつでも選んでください】**



**【調査結果の概要】**

「世の中は公平ではない」(158 件)が最も多く、以下、「自分のできる範囲で社会や多くの人の役に立つことをしたい」(157 件)、「親孝行は、人としてとても大切なことである」(105 件)と続いている。

Q18.青少年が心も体も健やかに育つために、どのような取組が必要だと考えますか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

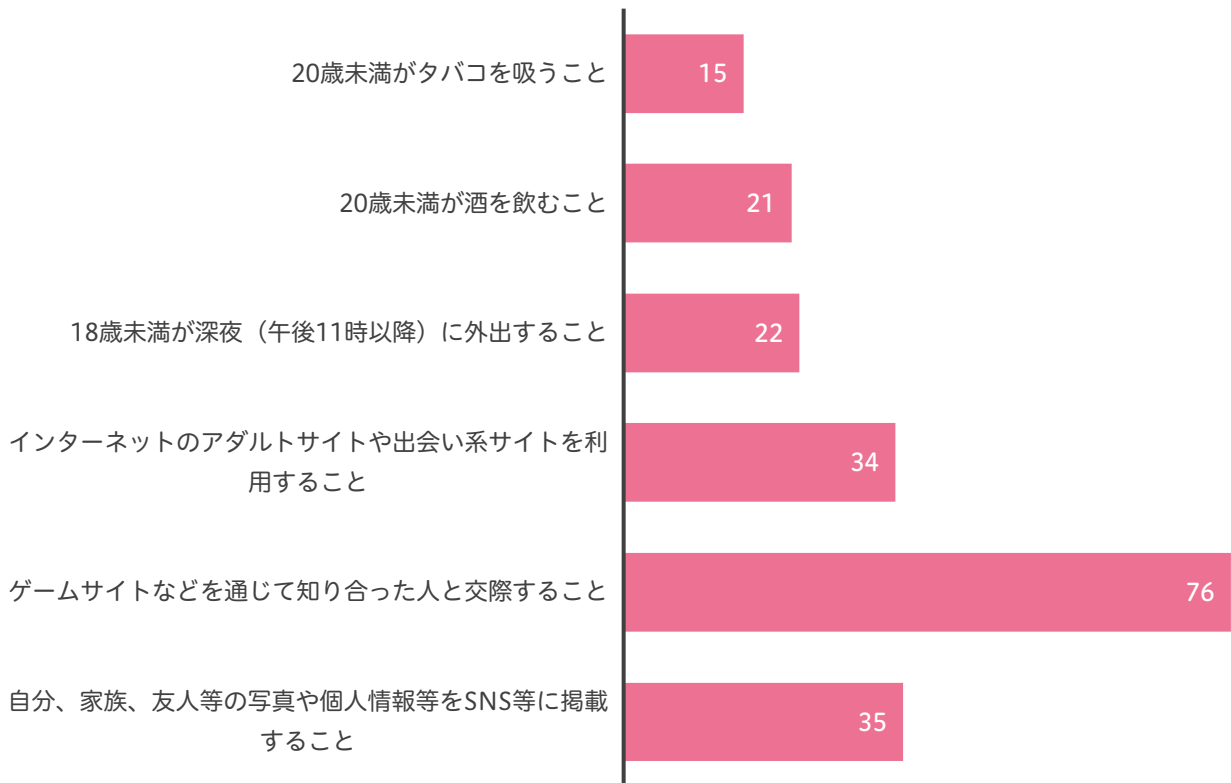
「家庭でのしつけや教育の充実」、「就学補助や奨学金給付金制度の充実など、こどもの貧困に対する取組の促進」がどちらも 118 件と多く、以下、「青少年の居場所の整備」(104 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- 有害なインターネット広告に規制をかける。
- 子どもそれぞれに個性があるので、個性を伸ばせるような教育が充実すると思う
- 家庭での情操教育保護者のゆとり
- 学校で一人一人目の届く体制マンモス学校なんて問題外少人数体制推進
- 1番は家庭での親との過ごし方だと思う。親のゆとりが子供のあらゆる成長や教育にも関わってくる。その親のゆとりと言うものが昨今とても難しくもある。時間ばかり…資金ばかり…。出来るものならばもっともっと子供と関わりたい。
- 県や市で、子供が活躍できる場の提供。他校の学校の子達と何かを企画するなどの場をつくる。
- 健全な家庭環境
- 子どもの多様性は認めるが、大人、特に教師や公務員に対しては画一化を求めているところ
- 家族でなくても、身近に相談したりモデル(理想像や目標)になる大人が居ること。
- 県内トップの高校や、トップの大学に入ることが正しいと思わせる塾の看板がありすぎる。保護者や学生に誤解を生んでいる。塾に通い、やりたいことを我慢し、テストのための勉強をしているように見える
- 子供の意見を尊重した、周りの親や先生、行政などからの「場所」作り
- スマホ利用の法律的な設定。
- 福祉の充実（定型発達児だけでなく障害児にも健やかに育てて欲しい）



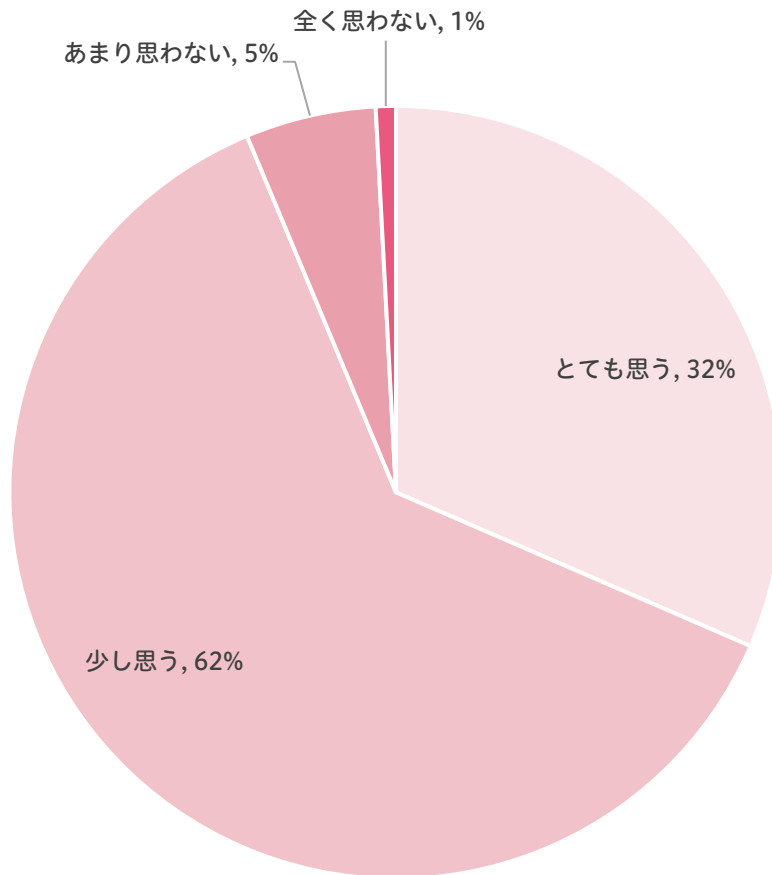
**Q19.あなたの考えでは、次のどの行為が「悪くない」と思いますか。  
【全て悪いと思う場合は何も選択せず次におすすみください】**



**【調査結果の概要】**

「ゲームサイトなどを通じて知り合った人と交際すること」(76件)が最も多く、以下、「自分、家族、友人等の写真や個人情報等をSNS等に掲載すること」(35件)、「インターネットのアダルトサイトや出会い系サイトを利用すること」(34件)と続いている。

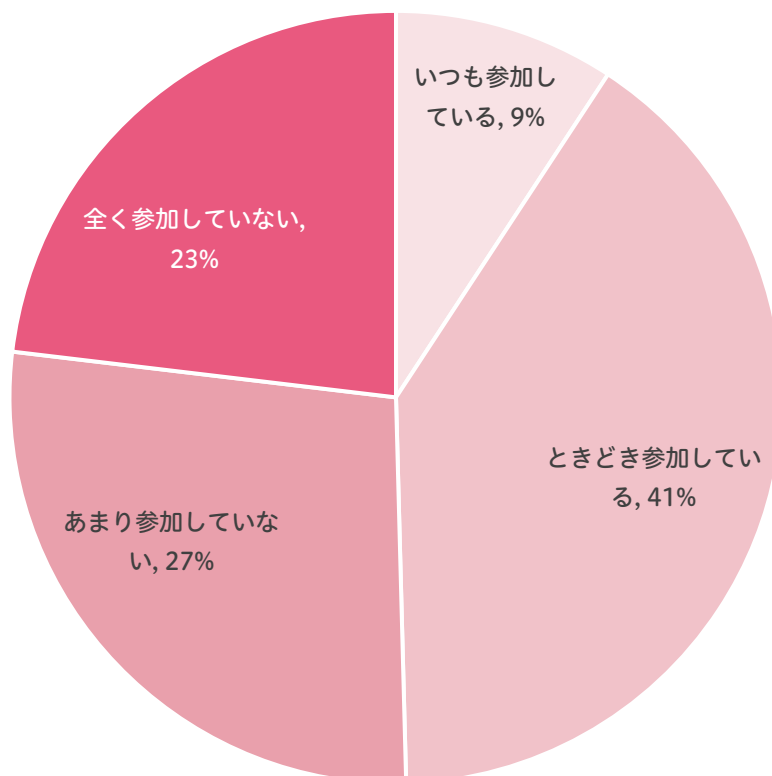
Q20.誰かのためや社会のためになることをしたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「少し思う」(62%)、「とても思う」(32%)となっており、9割以上の方が「誰かのためや社会のためになることをしたい」と思っている。

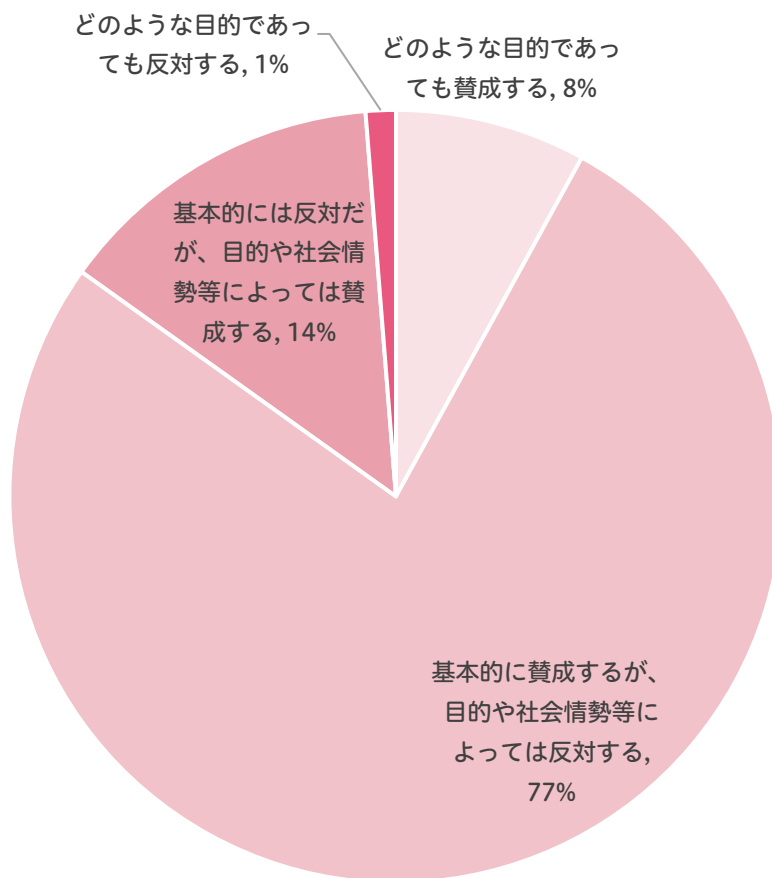
**Q21.社会貢献活動（ボランティアなど）に参加していますか。**  
※募金活動、プルタブやエコキャップ等の収集、育成会等の地域活動など



**【調査結果の概要】**

「ときどき参加している」(41%)が最も多く、以下、「あまり参加していない」(27%)、「全く参加していない」(23%)と続いている。

Q22.こどもから、海外留学や海外で仕事をしたいと言われた場合、あなたはどのようにしますか。

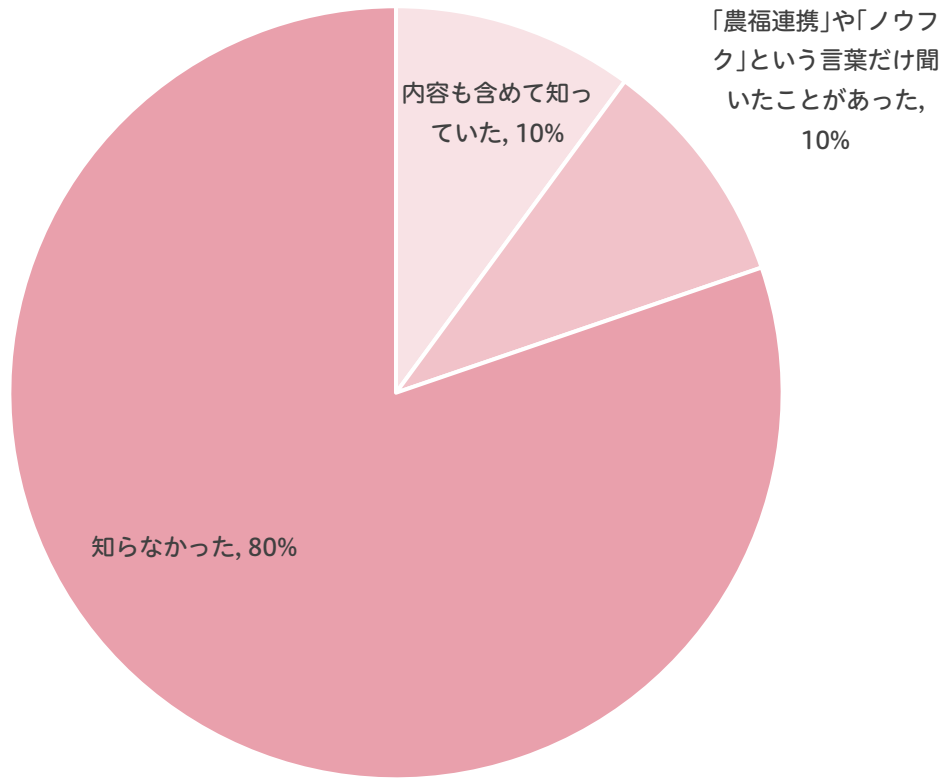


**【調査結果の概要】**

「基本的に賛成するが、目的や社会情勢等によっては反対する」(77%)が最も多く、以下、「基本的に反対だが、目的や社会情勢等によっては賛成する」(14%)、「どのような目的であっても賛成する」(8%)と続いている。

## Q23.農福連携の取組を知っていますか。

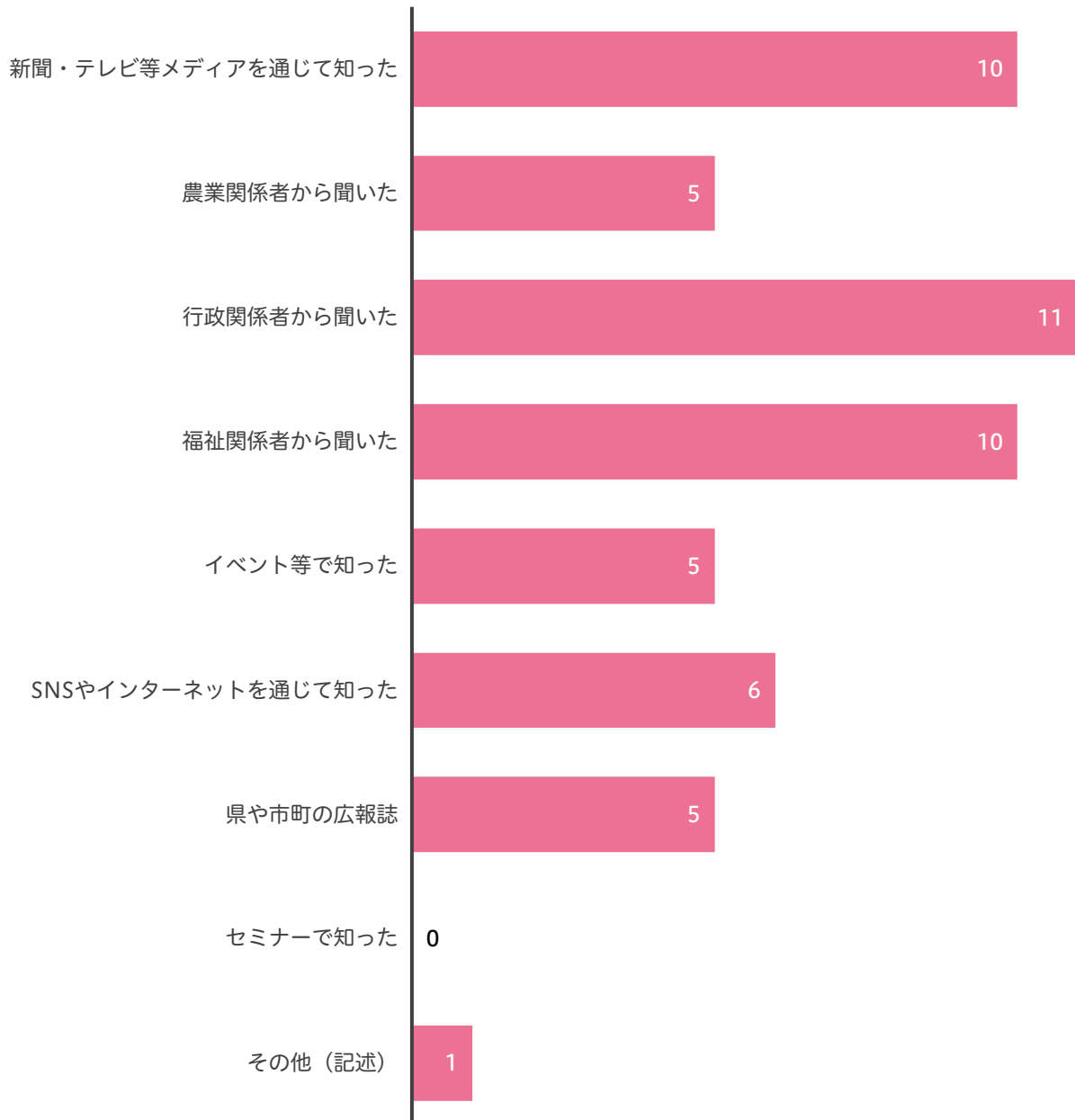
※農福連携（のうふくれんけい）とは、障害のある人が農業を通じて、自信や生きがいをつくり、社会の一員として活動していく取組



### 【調査結果の概要】

「知らなかった」(80%)が最も多く、以下、「内容も含めて知っていた」「農福連携」や「ノウフク」という言葉だけ聞いたことがあった」がどちらも10%と同率であった。

Q24. 「Q23」で「内容も含めて知っていた」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組をどのように知りましたか。【いくつでも選んでください】



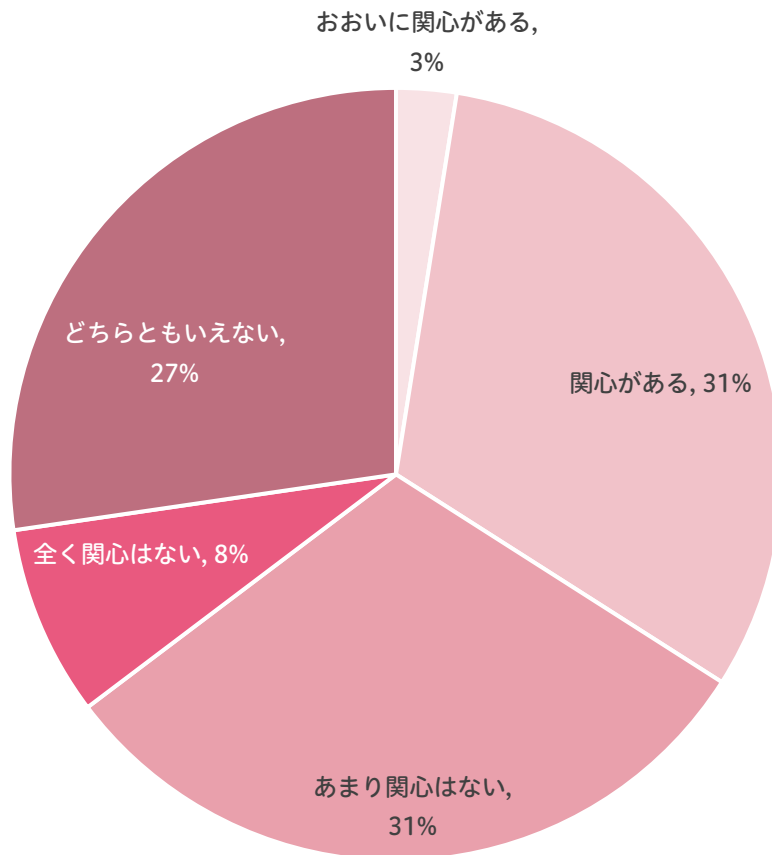
【調査結果の概要】

「行政関係者から聞いた」（11件）が最も多く、以下、「新聞・テレビ等メディアを通じて知った」、「福祉関係者から聞いた」がどちらも10件と同率だった。

【その他の自由記述】

- ・ 知らない

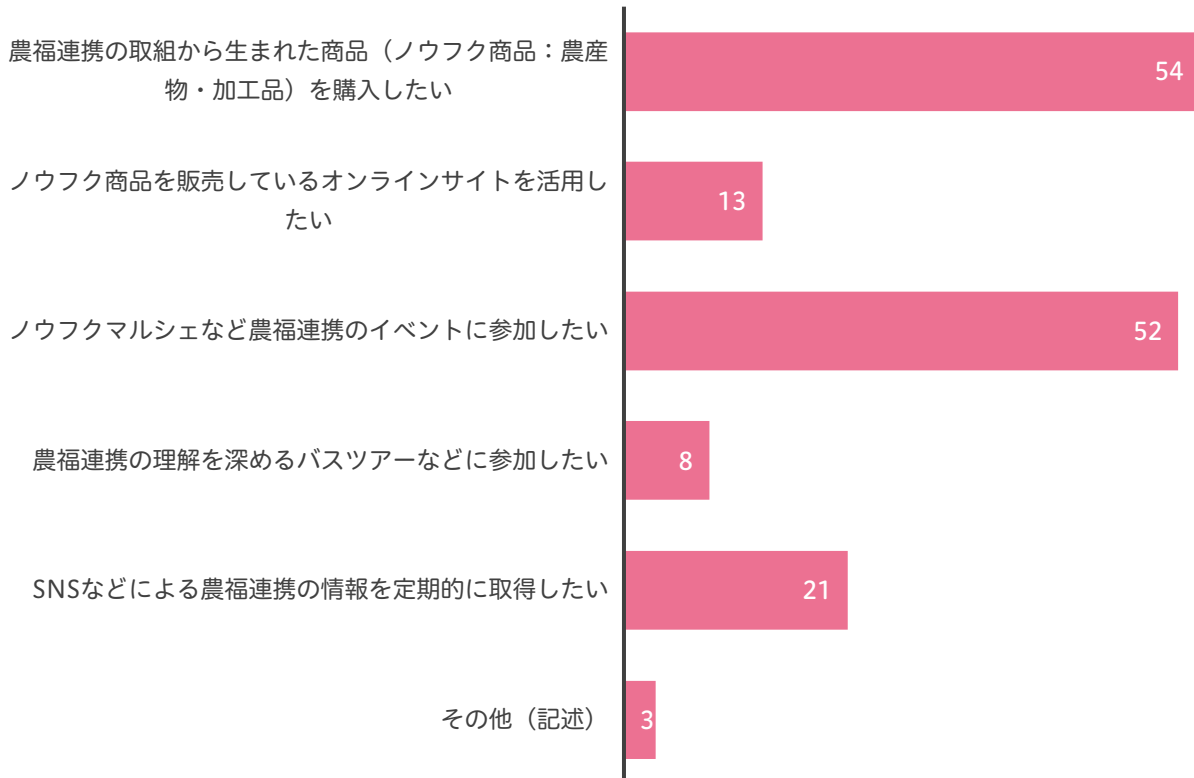
## Q25.農福連携について関心はありますか。



### 【調査結果の概要】

「あまり関心はない」(31%)、「関心がある」(31%)が多く同率で、続いて「どちらともいえない」(27%)となっている。

Q26.「Q25」で、農福連携の取組について、「おおいに関心がある」、「関心がある」と回答した方にお聞きします。農福連携の取組についてどのように関わりたいですか。【いくつでも選んでください】



#### 【調査結果の概要】

「農福連携の取組から生まれた商品（ノウフク商品：農産物・加工品）を購入したい」（54件）が最も多く、以下、「ノウフクマルシェなど農福連携のイベントに参加したい」（52件）、「SNSなどによる農福連携の情報を定期的に取得したい」（21件）と続いている。

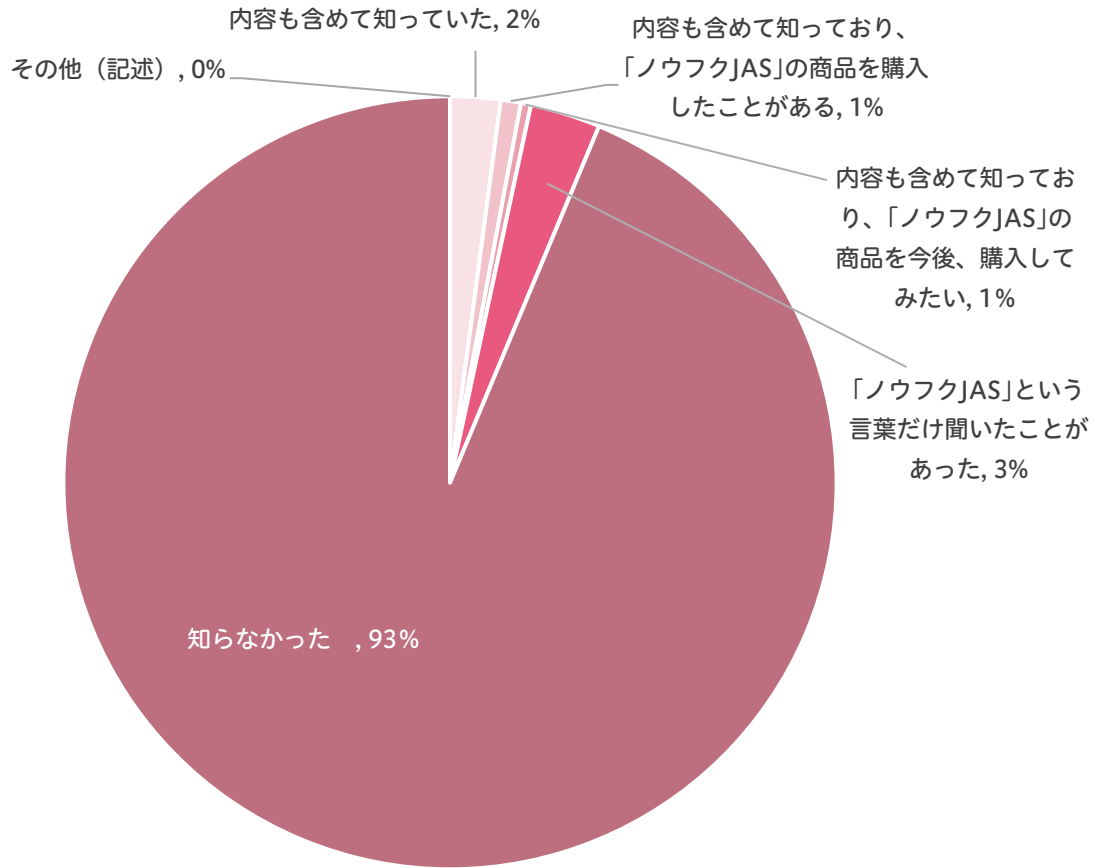
#### 【その他の自由記述】

- ・ まずは、どんな内容なの自分なりに調べてみたい
- ・ 農福がなんなのか分からない
- ・ とりあえず農福連携についてももう少し知りたい。あまりにも自分が無知
- ・ 農福がわからないので、質問されてもわからない



## Q27.ノウフクJASを知っていますか。

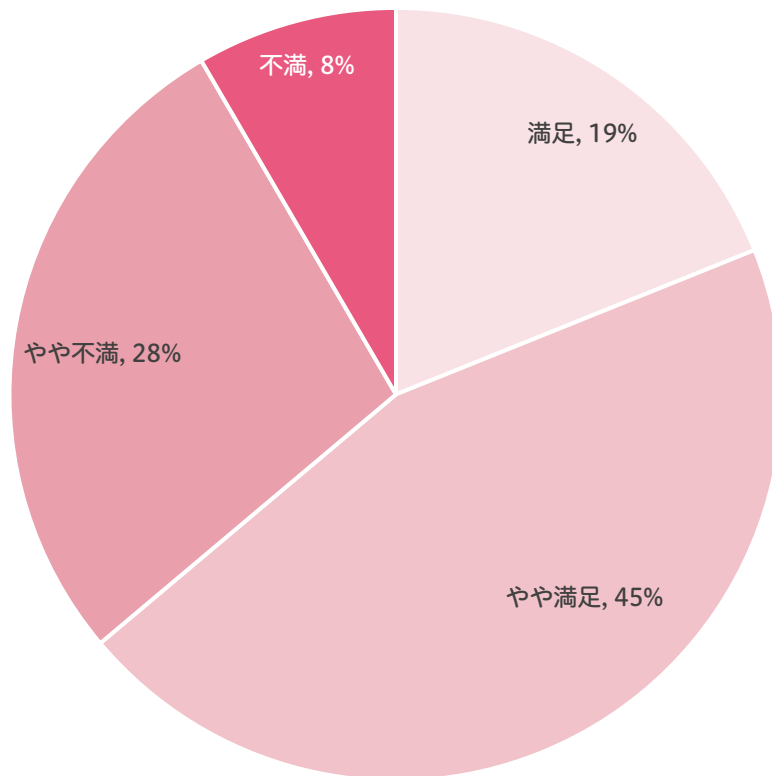
※JASとは農林水産物・食品の品質や仕様を揃えるための規格であり、ノウフクJASとは、障害者が生産行程に携わった食品等の規格



### 【調査結果の概要】

「知らなかった」(93%)が9割以上を占めており、以下、「「ノウフクJAS」という言葉だけ聞いたことがあった」(3%)、「内容も含めて知っていた」(2%)と続いている。「内容も含めて知っており、「ノウフクJAS」の商品を購入したことがある」は1%であった。

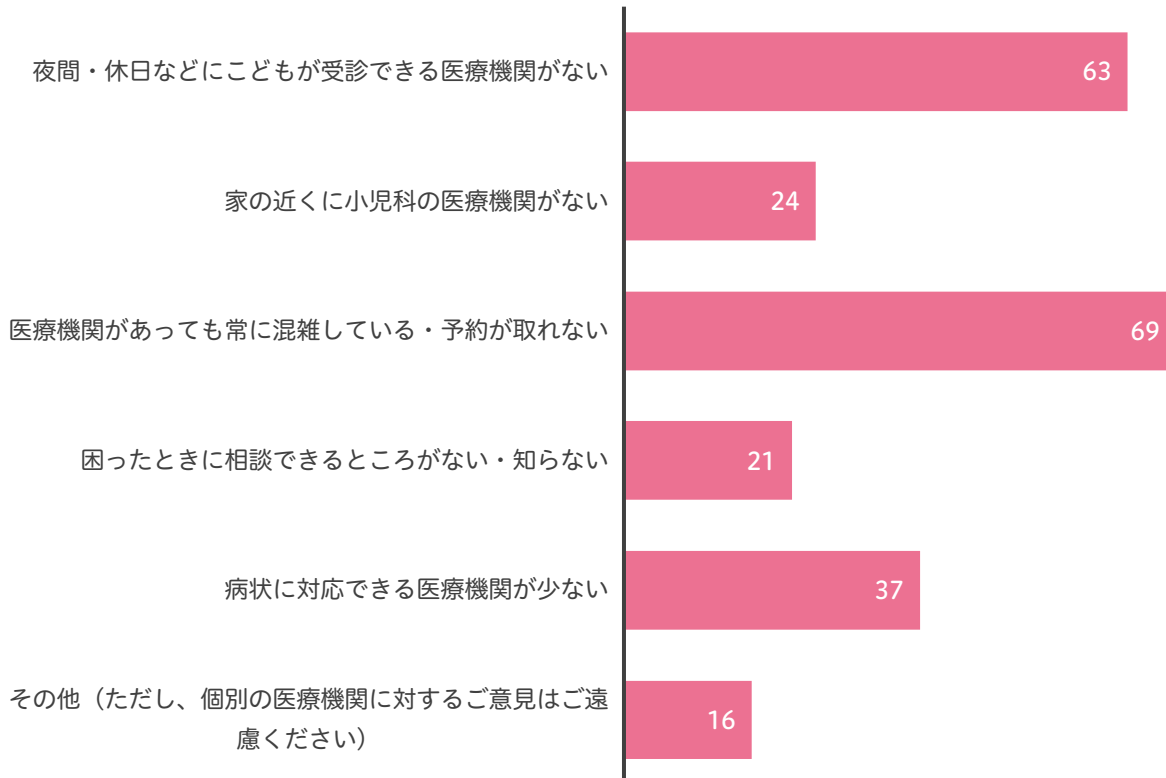
Q28.栃木県の小児医療提供体制（こどもに対する外来医療や救急医療、医療相談等の体制）について満足していますか？



【調査結果の概要】

「やや満足」(45%)が最も多く、以下、「やや不満」(28%)、「満足」(19%)と続いている。

**Q29.「Q28」で、「やや不満」「不満」と回答した方にお聞きします。小児医療提供体制について不満に思うことを選択してください。【いくつか選んでください】**



**【調査結果の概要】**

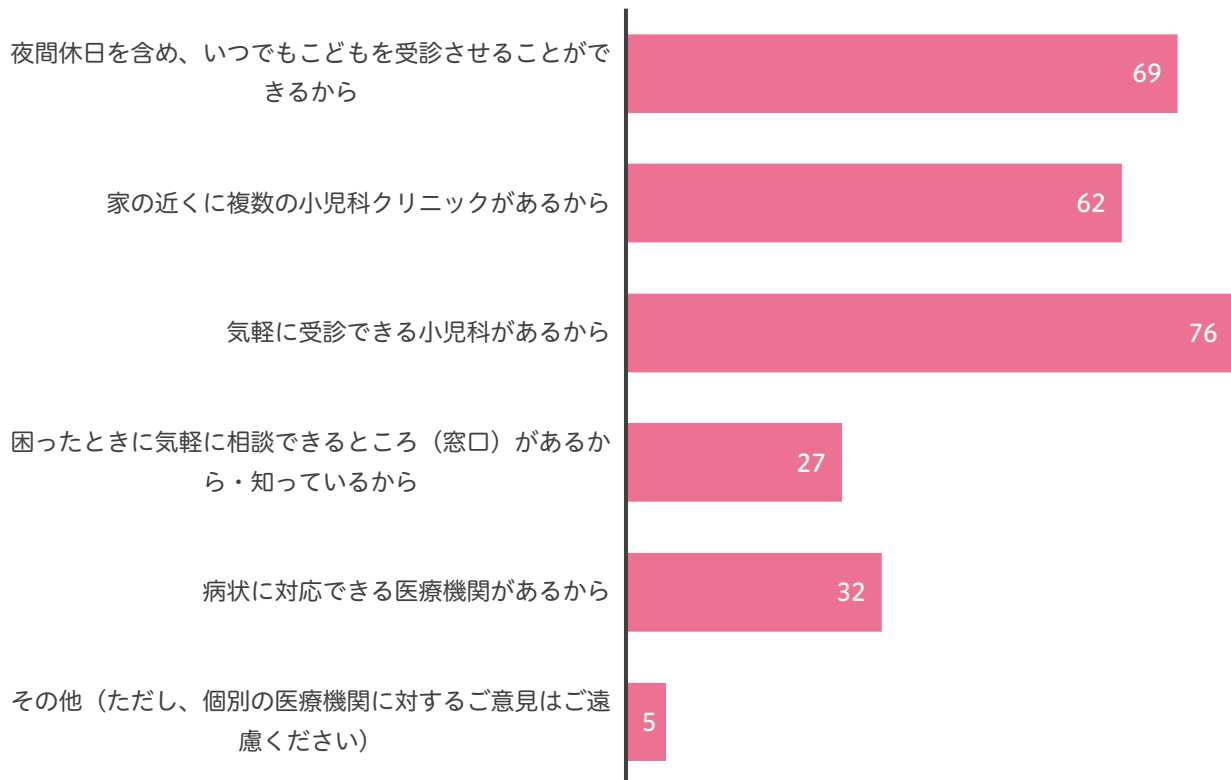
「医療機関があっても常に混雑している・予約がとれない」（69件）が最も多く、以下、「夜間・休日などにこどもが受診できる医療機関がない」（63件）、「病状に対応できる医療機関が少ない」（37件）と続いている。

**【その他の自由記述】**

- ・ 小児科の数が圧倒的に少ない。子供はいつも休みや夜に体調を崩すのに、小児科医がいないことから急患センターなどで断られる。
- ・ 小児がかかる頻度が高いと思われる耳鼻科や皮膚科が少ないと思います。
- ・ 医療スタッフが少ない
- ・ 救急以外で相談できるところがどこにあるのかわからない。病院では先生が忙しそうだし、熱があるとか急性の時または明らかな異常以外は相談しにくい。
- ・ 以前、夜間救急にかかりたくて連絡したが、専門医がいないと言われ受け入れてもらえなかった。
- ・ 初診受け付け終了が早い
- ・ 小児科専門医が少ない。
- ・ #8000 で相談する看護師の方たちはいつも面倒そうで冷たい態度を取られ心が折れます。電話をかける方は心配と不安でいっぱいな方ばかりだと思うのですが、寄り添う気持ちも感じられず投げやりな言い方にいつも悲しい気持ちになります。
- ・ 新生児の検査は充実しているが、検査結果が引っかかってしまった場合のフォローがない。

- ・ 小児科が予約システムを取り入れていて、朝のうちに予約が1日うまってしまうときがある。6時半に予約開始して1分で1日の予約うまるときもある。ひどいときは、5箇所かけても乳児の発熱の診察をしてもらえず、〇〇病院まで行ってやっとかかれたことがあった。
- ・ 小児科を標榜していても専門医出ないことが多い
- ・ 小児発達の外来が少ないと感じる。
- ・ インフルエンザの予防接種を無償化してほしい。せめて小学生までは無償化して頂けると助かります。
- ・ 大型連休初日に娘が発熱したが小児ということで日中の当番医には連日門前払い。夜間の小児医療でもコロナ検査の対応しかしてもらえなかった。連休中、解熱剤と食事でしか対応できず子どもが衰弱してかわいそうだった。
- ・ 薬だけに頼らない、医食同源を基本とした自然に沿った提案指導をしてくださる先生が少なすぎる。子供達のためにも、今後の身体づくりを基本とした食選びも提案出来るような小児科が増えることを期待します。

**Q30.「Q28」で、「満足」「やや満足」と回答した方にお聞きします。  
小児医療提供体制について満足と評価した理由を選択してください。  
【いくつでも選んでください】**



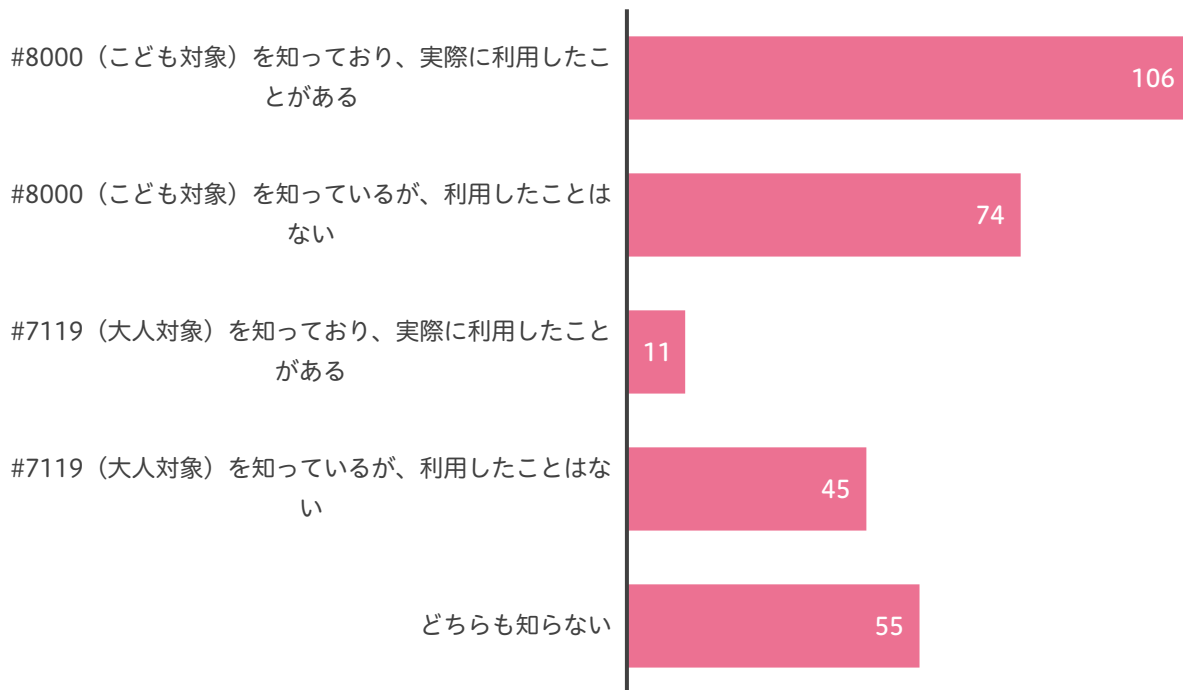
#### 【調査結果の概要】

「気軽に受診できる小児科があるから」（76件）が最も多く、以下、「夜間休日を含め、いつでも子どもを受診させることができるから」（69件）、「家の近くに複数の小児科クリニックがあるから」（62件）と続いている。

#### 【その他の自由記述】

- ・ 上の子の時はなかったの
- ・ 最近、救急医療を利用したとき対応に満足した。
- ・ 今のご時世、色々な意味でこんなものではないですか。可もなく不可もなく、
- ・ 子供が薬を多く飲んだ時に看護師の方に相談できる電話を何度か利用させていただきとても助かりましたが、現状に満足せずにレベルの高い他の自治体と連携して質の高い医療を目指してもらいたいです。
- ・ 混雑していたり初診予約が取りづらいこともあるが、何時間か待てれば診察は受けられる。
- ・ 去年息子が難病で救急搬送されました。県内大学病院と市内の総合病院が連携をはかって下さっており安心できます。

**Q31.とちまる救急安心電話相談を知っていますか？利用経験はありますか？【2つまで選んでください】**



**【調査結果の概要】**

「#8000(こども対象)を知っており、実際に利用したことがある」(106 件)が最も多く、以下、「#8000(こども対象)を知っているが、利用したことはない」(74 件)、「どちらも知らない」(55 件)と続いている。